

施策番号	0602		
施策名	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援		
概要	伝統文化等を継承するため、国内外の人々が京都の伝統的な文化芸術を体験する機会を提供し、また、文化芸術活動が京都で展開されるよう、若手の芸術家等の育成等を行う。		
担当局・部室	文化市民局・文化芸術都市推進室	共管局・部室	行財政局・総務部
上位政策	6 文化		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都文化芸術都市創生計画		

施策の評価

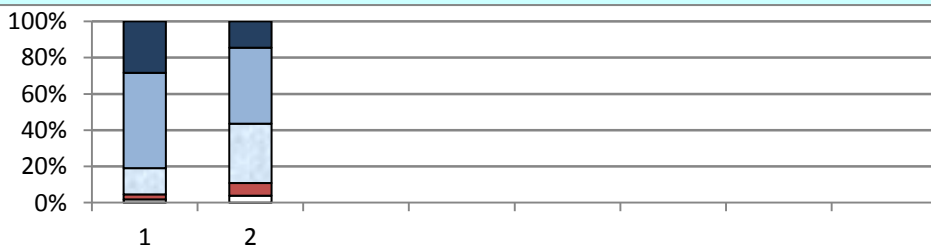
1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	芸術大学における修士課程及び博士課程への進学者数(人)	a	a	69	46	69	66.7%	e	1.00
2	伝統芸能等事業の入場者数(人)	e	e	6,776	6,315	10,129	62.3%	d	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		C	C	客観指標総合評価				e	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言う と思う	どちらとも言 えない	どちらかと言 うと思うわ ない	そう思わ ない		
1	京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。	155	287	79	15	10	546	a
		28.4%	52.6%	14.5%	2.7%	1.8%		
2	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	79	228	178	38	21	544	b
		14.5%	41.9%	32.7%	7.0%	3.9%		
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						a



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	e	☐ 市民の実感	a	
(重み付けの理由) 当該施策においては、施策の主な内容と客観指標とが端的に対応しているのに対し、市民の実感は他の文化芸術施策も包括した内容であるため、客観評価を重視する。						24年度
(原因分析) ・客観指標について、芸大における大学院進学者数の低下に関しては、卒業後の進路の多様化などが大きく影響しているとみられ、また伝統芸能の体験機会に関しては、市民寄席の会場のひとつであった京都会館の休館に伴う入場者数の減少が見られたことで、e評価となった。 ・市民の実感については、伝統文化の継承や芸術系大学の集積といった京都の強みが反映された結果となっている。						23年度

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	文化芸術顕彰制度	7,618	5,731	良い	文化市民局
2	芸術文化協会交付金	26,264	26,824	良い	文化市民局
3	文化芸術を鑑賞・体験する機会を創出するための取組	24,271	17,247	かなり良い	文化市民局
4	各種団体事業助成	18,191	22,524	かなり良い	文化市民局
5	芸術活動支援	66,107	78,501	良い	文化市民局
6	古典の日推進事業	—	14,283	—	文化市民局
7	京都芸術センター	153,685	128,920	—	文化市民局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・「古典の日に関する法律」の制定を契機として、伝統芸能事業等の広報・宣伝を強化し、より多くの市民に、伝統的な文化芸術を体験する機会を提供するとともに、京都を拠点に活動する若手芸術家に対し、既存の空き家や小学校跡地施設等を活用し、居住・制作・発表の場づくりといった幅広いサポートを実施するなど、大学等とも連携して、新たな創造活動の支援を図る。

施策名	0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援					
指標名	芸術大学における修士課程及び博士課程への進学者数（人）						
担当課	総務課		連絡先	2 2 2－3 0 4 5			
1 指標の説明							
京都市立芸術大学における①学部卒業生のうち修士課程に進学した者及び②修士課程修了者のうち博士課程へ進学した者の合計数（進学先には他大学を含む。）							
2 指標の意味							
京都で若い才能が育まれていることを示す指標							
3 算出方法・出典等							
出典：学校基本調査							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度	
数値	69	46	23人減	69	過去5年間（平成19～23年度）の最高値（平成23年度）	66.7%	
	全国順位	中長期目標			備考	H19 61人、H20 56人 H21 56人、H22 63人 H23 69人	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
最新の数値が、過去5年間の a：最高値以上 b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：上中間と平均値の間 d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：下中間以下							
6 基準説明							
進学者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。 最高値：69（平成23年度） 平均値：61 最低値：56（平成21年度）							
7 評価結果							
232425							
ae							

指標名	伝統芸能等事業の入場者数（人）						
担当課	文化芸術企画課		連絡先	3 6 6－0 0 3 3			
1 指標の説明							
伝統芸能等事業（市民狂言会、京都薪能、市民寄席）の入場者数							
2 指標の意味							
市民等が京都の伝統的な文化芸術を体験する機会を提供していることを示す指標							
3 算出方法・出典等							
出典：事業担当課調べ							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度	
数値	6,776	6,315	461人減	10,129	過去5年間（平成19～23年度）の最高値（平成19年度）	62.3%	
	全国順位	中長期目標			備考	H19 10,129人、H20 9,042人 H21 6,626人、H22 6,121人 H23 6,776人	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
最新の数値が、過去5年間の a：最高値以上 b：最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間 c：上中間と平均値の間 d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：下中間以下							
6 基準説明							
入場数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。 最高値：10,129（平成19年度） 平均値：7,739 最低値：6,121（平成22年度）							
7 評価結果							
232425							
eed							